

## 第50回 廃炉・汚染水対策現地調整会議

### 議事概要

#### 1. 開催概要

日時：令和元年9月30日（月）10：45－12：15

場所：いわきワシントンホテル【3階：アゼリアA+B】

#### 2. 出席メンバー

##### <政府>

松本 洋平	原子力災害現地対策本部長（経済産業副大臣）
由良 英雄	原子力災害現地対策本部 副本部長
師田 晃彦	復興庁 福島復興局 次長
上谷 昌史	国土交通省 水管理・国土保全局河川環境課 河川環境評価分析官
有林 浩二	文部科学省 研究開発局原子力課 放射性廃棄物企画室 室長
高瀬 美和子	水産庁 増殖推進部研究指導課 課長
須藤 治	原子力災害対策本部 廃炉・汚染水対策チーム 事務局長補佐
新川 達也	原子力災害対策本部 廃炉・汚染水対策チーム 事務局長補佐
光成 政和	原子力災害対策本部 廃炉・汚染水対策チーム 事務局長補佐
田中 克直	原子力災害対策本部 廃炉・汚染水対策チーム 企画官
奥田 修司	原子力災害対策本部 廃炉・汚染水対策チーム 廃炉・汚染水対策官
木野 正登	内閣府 廃炉・汚染水対策現地事務所 参事官
町屋 政蔵	内閣府 廃炉・汚染水対策現地事務所 調整官
小野 義世	内閣府 廃炉・汚染水対策現地事務所 廃炉・汚染水対策官
佐々木 英治	内閣府 廃炉・汚染水対策現地事務所 廃炉・汚染水対策官
川武當 晴美	内閣府 廃炉・汚染水対策現地事務所 廃炉・汚染水対策官
狩野 成昭	内閣府 廃炉・汚染水対策現地事務所 課長補佐
高倉 寧	内閣府 廃炉・汚染水対策現地事務所 課長補佐
秋元 正人	内閣府 廃炉・汚染水対策現地事務所 係長
佐藤 義就	内閣府 廃炉・汚染水対策現地事務所
野村 幸広	内閣府 廃炉・汚染水対策現地事務所
片山 淳	内閣府 廃炉・汚染水対策現地事務所

##### <原子力損害賠償・廃炉等支援機構>

上條 仁志	福島第一原子力発電所現地事務所 所長
佐川 寛	福島第一原子力発電所現地事務所 所長代理
永井 正博	福島第一原子力発電所現地事務所

<規制当局>

金子 修一 原子力規制庁 長官官房 審議官  
南山 力生 原子力規制庁 地域原子力規制総括調整官  
川又 修司 厚生労働省福島労働局 労働基準部長

<東京電力>

小野 明 常務執行役 福島第一廃炉推進カンパニー プレジデント  
大倉 誠 常務執行役 福島復興本社代表  
梶山 直希 執行役員 福島第一廃炉推進カンパニー バイスプレジデント  
矢代 一男 福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 ユニット所長

<オブザーバー(福島県)>

菅野 崇 福島県 原子力安全対策課 課長

●松本副大臣 冒頭挨拶

本日はお忙しい中、お集まりいただき感謝いたします。

この度、原子力災害現地対策本部長の任を仰せつかりました。福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水対策と福島の復興に全力で取り組んでいくとの決意の下、まずは現場を確認したいとの思いで、県庁および地元市町村などを訪問致しました。

今月 25 日には、5 年ぶりに福島第一原発を視察しました。3号機からの燃料取り出しの開始、汚染水発生量の低減や労働環境の改善など、廃炉・汚染水対策は大きく進んでいることを実感しました。

福島第一原発の廃炉・汚染水対策を安全かつ着実に進めていくことは、福島の復興に向け、いまだ根強い風評を払拭するためにも、極めて重要であると考えています。この廃炉・汚染水対策現地調整会議は、そうした福島第一原発の廃炉・汚染水対策の現状や課題を、現地において関係者一同でしっかりと共有し、着実に、対策を進めて行くための重要な議論の場であると認識しています。

今月は台風が相次ぎ、千葉県をはじめ、各地で大きな被害が起きています。本日は、福島第一原発における豪雨対策や、汚染水発生量の低減に重要な雨水対策について、その進捗状況の詳しい報告を受けたいと思います。また、1 / 2号機排気筒の解体について、これまでに経験のない難しい作業ですが、その進捗状況についてもしっかりと確認したいと思います。

本日も忌憚のない活発な御議論をよろしく願いいたします。

### 3. 指摘事項

#### 資料 1-1

- 1000年に1度の確率である417mmだが、昨今は全国で大雨が相次いでいるので、この数字にこだわることなく、柔軟に対応してほしい。仮設の土嚢を設置するということが、線状降水帯など、突然の大雨にも対応できる体制づくりが重要。
- 台風による強風の被害が国内で発生しているが、福島第一原発における暴風対策はどのようになっているか。  
⇒風速の予報に応じて、臨時のパトロールや機材の飛散防止のための養生を行うとともに、クレーンについては、風速40m/sを超える予報が出た場合には、伏せる、固縛するという対策を実施している。

#### 資料 1-2

- 廃炉作業を安全かつ着実に進めていただきたいと繰り返し申し上げている中で、部品の調達遅れによる3号機の燃料取り出しの再開遅れや、想定外の事象による1/2号機排気筒解体における作業の中断が起きている。こうした不具合に対して、直接安全にかかわることはなくても、先の見えない延期ではなく、見通しを伝えていただいた方が安心する。また排気筒については、作業時間が延びると作業員への負担も増える。その際にも被ばく管理が行われていることを報道等で確認できれば、廃炉作業が安全、確実に進んでいると感じることができ、地元の安心にもつながる。
- 1号機使用済燃料プールのカレキについて、画像の分析を可能な範囲でやってほしい。また、オペフロには穴が開いていて下の階につながっているので、上下作業による事故の無いように注意していただきたい。
- 1号機の燃料プールについて、できるだけ状況が見えたところで次のステップにいくのが重要。また、1号機は、内部調査のためのダストモニタの追加設置等、様々な作業が重複するので、十分に検討を重ねて進めていただきたい。

#### ●松本副大臣からの指摘事項

- 昨年に比べて様々な対策が功を奏して、汚染水発生量の低減効果が出ている。ロードマップ目標である150トン/日を確実に達成するためにも、屋根の補修工事やフェーシング等、必要な対策をしっかりと進めていただきたい。また、目標達成後も見据えて検討を進め、更なる汚染水発生量の低減に向け、着実に前に進めてほしい。
- 昨今、記録的な大雨が全国各地で発生している。豪雨時の浸水解析結果が示され、土のう等の応急対策により、表流水が建屋へ流入する状況が回避できることが確認できたことは安心材料だが、応急的な対応だけでなく、一層のリスク低減に向け、より確実な対策についても検討を進めていただきたい。
- 1/2号機排気筒解体について、これまで経験のない難しい作業に、地元企業が果敢にチャレンジしており、様々なトラブルを乗り越え、ここまで解体を進めてきたことをまずは評価したい。東京電力も関係企業と一体となって、これまでの作業の振り返りをしっかりと行い、安全を第一に、作業を着実に進めていただきたい。
- 3号機使用済燃料の取り出しについて、様々なトラブルを踏まえ、入念な準備をした上で作業を開始したと承知している。不具合については原因究明をし、再発防止策をとることは当然だが、立案した再発防止策は確実に実行しなければ、意味をなさない。こうした観点も含め、あらためて気を引き締め直し、今後の作業を進めていただきたい。
- 廃炉作業におけるトラブルが相次いでおり、人材の育成・確保が急務であると実感している。経験のない難しい作業に取り組んでいることは事実だが、こうした事案のそれぞれが、地元不安につながりうるということをしっかりと認識し、今一度、気を引き締め直して、安全かつ着実に作業を進めていただきたい。

#### 4. 次回以降の日程

次回の開催時期については、決定次第事務方より連絡。